



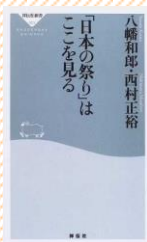
あなたにぴったりの秋は？



街路樹も色づきはじめ、過ごしやすい季節になってきました。吹く風も、初秋のころの残暑をともなった風から、だんだんと冷気をともなった風へと変化しているように感じます。この秋に吹く風のことを、五行説の金行にあたる時期から「金風」、また古代中国で秋の色を白としたことから「白風」とも呼ぶそうです。秋風は「祭りの秋」、「食欲の秋」、「スポーツの秋」、「芸術の秋」など、さまざまな秋を運んできます。とりわけ今月は祭りの風が吹きそうです。県内では、長崎くんち(7日～9日)はもちろんのこと、福江みなとまつり(2日～4日)、しまばら温泉不知火まつり(17日～18日)、YOSAKOI させぼ祭り(16日～18日)など目白押しです。

そんな祭りの魅力の一つに、出店や露店めぐりもあるのではないのでしょうか。りんご飴や綿菓子、イカ焼き、フランクフルトといった食べ物が並び、食欲の秋とばかりについて食べ物のほうに夢中になってしまう方もいらっしゃることでしょう。最近ではこうした定番のものに加えて、チュロス、ロールタコスなど新しい味も加わり、地域によってさまざまな個性があるのも出店の面白さです。祭りの晴れやかなムードも加わって、忘れられない思い出の味になるのではないのでしょうか。

一方で、静かな秋を楽しみたい方もいらっしゃると思います。「灯火親しむべし」とじっくり読書にふける…そんな一日も素敵ですね。図書館では、小説などのじっくり楽しめる本からスポーツや芸術に関する本まで、たくさんの秋をご用意しています。あなたにぴったりの秋を見つけ、満喫してみませんか。



『日本の祭り』はここを見る』

八幡 和郎/著
西村 正裕/著
祥伝社
2階一般 386.1 ヤ

祭りや地域の伝統芸能を見ることの面白さ、楽しさ、奥深さなど、祭りの魅力をさまざまな角度から紹介しています。祭りを見て歩く楽しみ方を教えてください。



『くいじ』
安野 モヨコ/著
文藝春秋
B596.0 ア

口癖は「お腹へった」。昼ごはんを食べながら夕食を考えるほどのくいしんぼう。
マンガ家・安野モヨコが、自らの「くいじ」をイラストとともに綴ったエッセイ集。



『秋びより』
池波 正太郎[ほか]/著
縄田 一男/編
KADOKAWA
B913.6 アキ

江戸の「秋」をテーマにした時代小説の短編集。池波正太郎や藤原緋沙子、岡本綺堂など、人気作家の名作・力作全5編を収録しています。

< 図書館カレンダー >

※ 毎週火曜日は休館日です。

※ 開館時間 10:00～20:00



10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

本木昌造と活版印刷

～活版伝習所ここに復活!～

8月29日(土)

9月5日(土)

開催しました!

みなさんは、活版印刷をご存知でしょうか。活版印刷とは、木や金属に文字や絵を刻んだ活字を組み合わせ、版を作り、インクを付けて何度も印刷できるようにしたものです。

明治初期、長崎生まれの本木昌造は、鑄造活字の製造に成功し、現在長崎市立図書館の建つ場所に“活版伝習所”を設立しました。そこで、縁のあるこの地・長崎市立図書館で、本木昌造の偉業と活版印刷の歴史や魅力を紹介するイベントを、長崎県印刷工業組合と共同で開催しました。

8月29日(土)に実施した“発見!活版ナルホドさるく”では、さるくガイドの船津さんの案内で本木昌造や活版印刷にゆかりのある場所をめぐり、印刷の歴史、長崎の歴史に想いを馳せました。

9月5日(土)には、長崎市立図書館・多目的ホールにて、本木昌造や活版印刷を紹介したパネル展示、ビデオ上映のほか、活版印刷を体験できるワークショップを行い、小さな活版印刷機を使って、しおりやメッセージカード、名前入りの一筆箋を作りました。なかなか体験することができない活版印刷なので、参加された方々に喜んでいただけたようです。

今も本という活字を求めて人々が集まる長崎市立図書館の地。その歴史を知ることで、より本への愛着がわくイベントとなりました。

8月29日(土)実施 発見!活版ナルホドさるく



コース：長崎市立図書館→活版伝習所跡→新町活版所跡→本木昌造宅跡→海軍伝習所跡→印刷工業組合

9月5日(土)実施 活版印刷体験ワークショップ

活版印刷体験



ブック・ボタン

毎月2名の図書館員がおすすめ本を紹介します。



今月のテーマは・・・

カフェ



本の中の素敵なカフェ

読書をしていると、こんなお店が本当にあったらと、憧れのあまりため息をつきたくなるようなカフェに出会うことがあります。

『魔法使いのハーブティー』はそのタイトル通りハーブを扱うカフェが舞台です。カフェのオーナーをつとめる伯父の家に身を寄せることになった少女は、魔法の修行に励むことを約束させられる…とあらすじを書くとファンタジー小説のようですが、そうではありません。誰かが誰かを思いやる優しさや、ほんの少しの勇気こそが人生における魔法なのだと、そう思わせてくれる優しさに満ちた物語です。

もう1冊ご紹介したいのは『風のベーコンサンド』という、ピリッとほろ苦い人生のスパイスが効いた小説です。主人公の女性が仕事を辞め、さびれつつある高原にカフェをオープンしたところから話が始まります。カフェの経営に試行錯誤する中、さまざまな事情を抱えた人たちがカフェに集まってきます。主人公も実は傷ついた過去を持つ一人。それぞれが過去を受け止めて一歩を踏み出そうとする時、おいしい料理がそっと元気づけてくれます。

どちらにも思わず食べたくなるような料理や飲み物がでてきて、読むとお腹がすきそうですが、心は満たされること間違いなしの小説です。

(司書：田中 幸代)



『魔法使いのハーブティー』

有間 カオル/著

株式会社KADOKAWA

アスキー・メディアワークス

メディアワークス文庫

Y913.6 アリ



『風のベーコンサンド』

高原カフェ日誌』

柴田 よしき/著

文藝春秋

F913.6 シバ

常連さんって呼ばれない

行きつけのカフェがあるって憧れませんか? 「私、ここの常連なんだ!」と自慢したい、そんな素敵なカフェが登場する2冊を紹介します。

1冊目は『萩を揺らす雨』です。珈琲屋に訪れる人々を巡る“^{こうらんちよう}紅雲町 珈琲屋こよみ”ミステリーシリーズ第一弾。主人公は和服が似合うおばあちゃんのお草さん。気丈な彼女は昔からの夢を叶えて、小さな珈琲屋「^{こくらや}小蔵屋」を営んでいます。チャーミングでちょっとお節介なお草さんを、人だけでなく事件も放っておかないようです。物語から漂う珈琲の香りと、引き込まれる展開に、あなたもこのシリーズの常連になってしまうかもしれません。

私たちの生活に溶け込んでいるカフェ。2冊目に紹介する『カフェと日本人』は、歌声喫茶やスターバックスなどを例に、カフェの奥深い世界と日本人の関わりを様々な角度からその変遷とともに辿った本です。文豪に愛された喫茶店や、現存最古の喫茶店なども紹介されています。読後にカフェに立ち寄れば、今までと少し違う世界に出会えるのではないのでしょうか。

(司書：松本 文香)

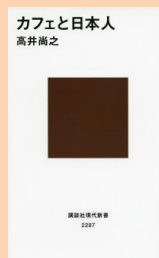


『萩を揺らす雨』

吉永 南央/著

文藝春秋

B913.6 ヨシ



『カフェと日本人』

高井 尚之/著

講談社

J673.9 タ

図書貸出券には有効期限があります

長崎市立図書館では、登録内容の確認のために3年に一度更新手続きを行っています。

- 登録された日以降の誕生日から3年2ヵ月後に期限が切れます。期限が切れた貸出券も、更新手続きをすれば引き続きご利用いただけます。
- 有効期限の6ヵ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。また、有効期限の2ヵ月前から、カウンターで更新のご案内をいたします。
- 更新手続きは誕生日から有効期限までの2ヵ月間に行ってください。
- 更新手続きには申込書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの(免許証や保険証など)の提示をお願いいたします。(小学生以下の方は申請書の記入のみ)
- 旧貸出券も新しい図書貸出券への切り替えを行ってください。
- **有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。**

図書館テレビ

毎月1回月曜日、午後6時20分～午後7時
NHK 総合「そこが気になる」のコーナーで放送中！



『でんでら国』
平谷 美樹/著
小学館
F913.6 ヒラ

江戸時代、山奥に老人だけの国「でんでら国」をつくり「隠田」を行う村人と、その事実を追う藩の役人との攻防戦を描いた物語。「でんでら国」は見つかってしまうのか・・・！？

図書館ラジオ

毎月第2金曜日午後2時、
長崎シティFM (81.3MHz) 「ウィーパラライブラリー」で放送中！



『ブッダのいる女子会』
Lotus8/編集
柁屋 光里/監修
ブルーロータスパブリッシング
2階一般 184ブ

人間関係、恋愛・結婚、子育て、仕事…。女子会に参加したブッダさまが3人の女子たちに悩みから解放されるための考え方を伝授。難しい教えも、尼さまがわかりやすく通訳します。

予約ランキング ※ 予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。予めご了承ください。

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
1	火花	又吉 直樹	文藝春秋	711
2	ラプラスの魔女	東野 圭吾	KADOKAWA	393
3	フランス人は10着しか服を持たない	ジェニファー・リスコット	大和書房	321
4	サラバ! 上	西 加奈子	小学館	291
5	鹿の王 上	上橋 菜穂子	KADOKAWA	240

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
6	流	東山 彰良	講談社	191
7	リバーズ	湊 かなえ	講談社	177
8	教団X	中村 文則	集英社	173
9	マスカレード・イブ	東野 圭吾	集英社	170
10	あの家に暮らす四人の女	三浦しをん	中央公論新社	169

(2015年9月16日現在)